上級プログラミング1(第9回)

工学部 情報工学科 木村昌臣

今日のテーマ

- □ 入出力に関わるプログラミング
- □ 例外処理
- ロ マルチスレッドプログラミング

入出力に関わるプログラミング

TXTファイルからデータを読み出そう

```
import java.io.*;
class Smpl0501 {
    public static void main(String[] args){
       BufferedReader bf=null; String strData="";
               FileInputStream fI = new FileInputStream("Sample.txt");
       try{
               InputStreamReader iS=new InputStreamReader(fI, "SJIS");
               bf=new BufferedReader(iS);
               while((strData=bf.readLine())!=null){
                       System.out.println(strData);
        }catch(Exception e){
               e.printStackTrace();
        }finally{
               try {
                       bf.close();
               } catch (IOException e) {
                       e.printStackTrace();
```

```
先週の復習(import文)
import java.io.*;
```

ファイル入出力用のクラスを 使うのでそのパッケージを インポートしておく

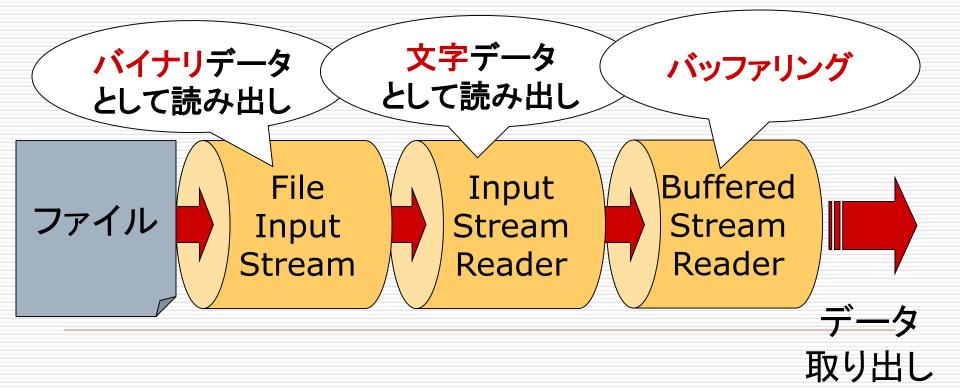
```
class Smpl0501 {
  public static void main(String[] args){
     ファイル入出処理の記述
```

テキストファイルの読み出し

```
String line="";
                 バイナリデータ
                 として読み出し
FileInputStream fi
                                    文字データ
        = new FileIr putStream("
                                   として読み出し
InputStreamReader is
        =new InputStreamPcader(fi, "SJIS");
BufferedReader br
        =new BufferedReader(is);
while((line=br.readLine())!=null) ₹
                                  バッファリング
        System.out.println(line);
```

テキストファイルの読み込み関係のクラス

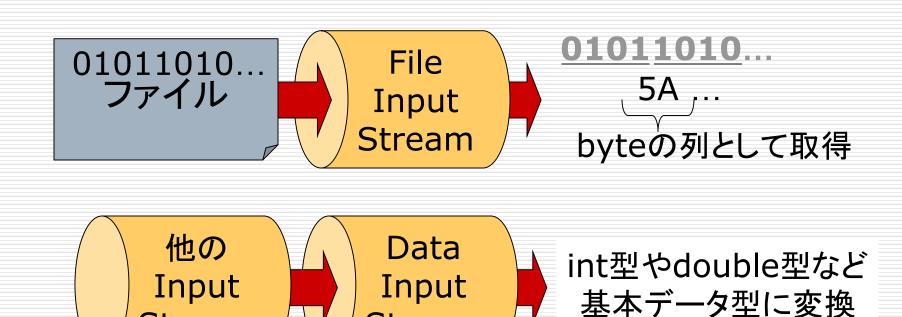
テキストファイルからデータを読み込むときには、 通常、三段構えで行う



バイト入力ストリーム

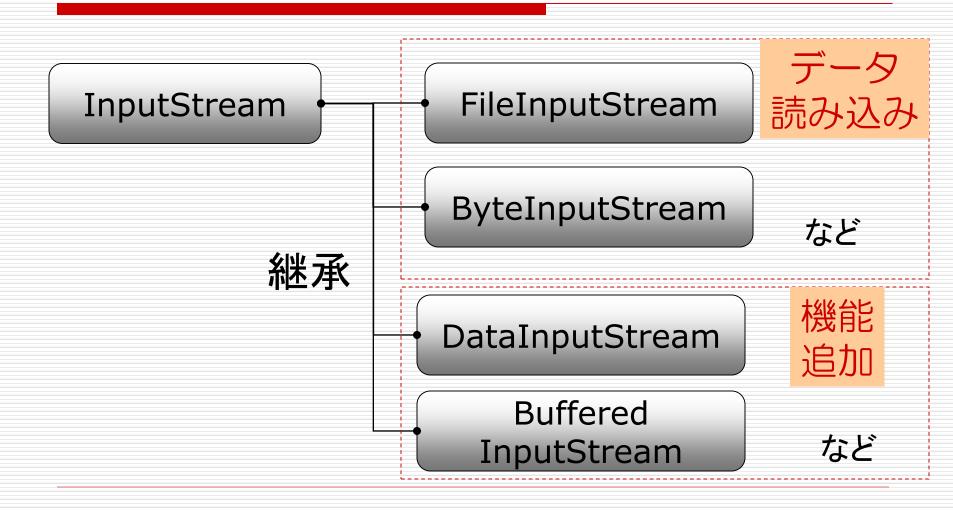
Stream

byte単位でプログラムに渡すデータの流れ



Stream

バイト入力ストリーム



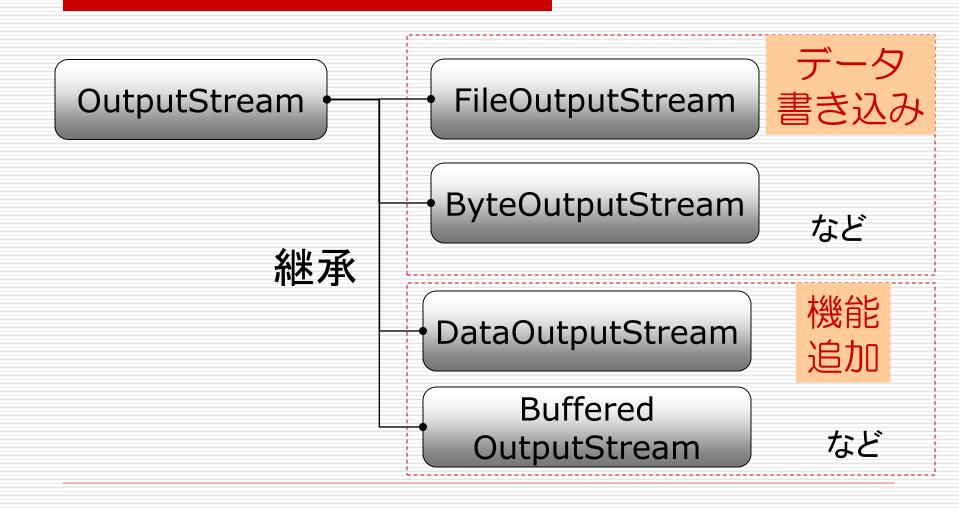
バイト出力ストリーム

byte単位で出力するデータの流れ



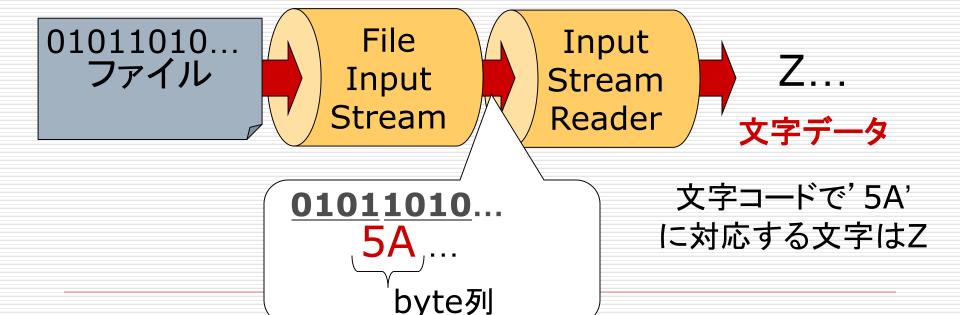


バイト出力ストリーム



文字ストリーム

文字単位でプログラムに渡すデータの流れ



Readerクラス InputStream File Reader Reader Reader StringReader など 継承 LineNumber **Buffered** Reader Reader 機能 など

Writerクラス 書き込み OutputStream File Writer Writer Writer StringWriter など 継承 BufferedWriter 機能

注意

ファイルを使ったら閉じるべし

BufferedReaderをcloseするとiSやfIも内部的にcloseされる

まとめ

- □ バイト列での入出力部分とそれを文字列として扱う部分を、プログラムに必要な機能に応じて組み合わせる
 - バイト列入出力部分: InputStream, OutputStreamとその子クラス
 - 文字列取り扱い部分:Reader, Writerの子クラ ス

例外処理

TXTファイルからデータを読み出そう(再掲)

```
import java.io.*;
class Smpl0501 {
    public static void main(String[] args){
       BufferedReader bf=null; String strData="";
               FileInputStream fI = new FileInputStream("Sample.txt");
       try{
               InputStreamReader iS=new InputStreamReader(fI, "SJIS");
               bf=new BufferedReader(iS);
               while((strData=bf.readLine())!=null){
                       System.out.println(strData);
       }catch(Exception e){
               e.printStackTrace();
       }finally{
               try {
                       bf.close();
               } catch (IOException e) {
                       e.printStackTrace();
```

•••こんなときどうしよう?

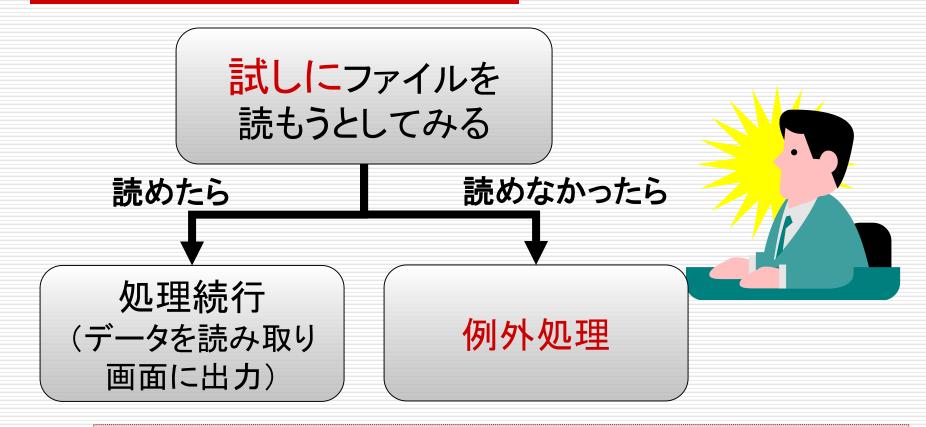
ファイルがないよ!

ファイルはあるけど 読み取れない!



などなど

こんなことができたら便利



うまくいかなかったこと(ファイルが開けなかった等) を<mark>例外という</mark>

TXTファイルからデータを読み出そう(再掲)

```
public static void main(String[] args){
  String strData=""; | BufferedReader bf=null;
   try{
            FileInputStream fI
                  = new FileInputStream("Sample.txt");
            InputStreamReader iS
  試しに
                  =new InputStreamReader(fI,"SJIS");
            bf=new BufferedReader(iS);
            while((strData=bf.readLine())!=null){
                  System.out.println(strData);
  catch(Exception e){ <
                                   もし例外が発生したな
      e.printStackTrace();
                                   ら、その例外を捕えて
                                     {}内の処理を行う
      ••••(略)
```

複数の例外に対して別の処理を行わせることも可能

```
try{
        ・・・・ファイル読み出し処理・・・・
catch(FileNotFoundException e){
  System.out.println("そんなファイルはありません。");
  e.printStackTrace();
catch(IOException e){
  System.out.println("入出力エラーが発生しました。");
  e.printStackTrace();
```

Finally文

□ どんな例外処理をしても、正常処理であっても 必ず実施する処理を記述する

```
try{
     bf=new BufferedReader(iS);
} catch(FileNotFoundException e){
  System.out.println("そんなファイルはない。");
} catch(IOException e){
  System.out.println("入出力エラーが発生しました。");
}finally{
          bf.close();
                            入力ストリーム
```

例外とエラーの違い

エラー

ハードウェア障害 OSのバグによるエラー

システムエラー

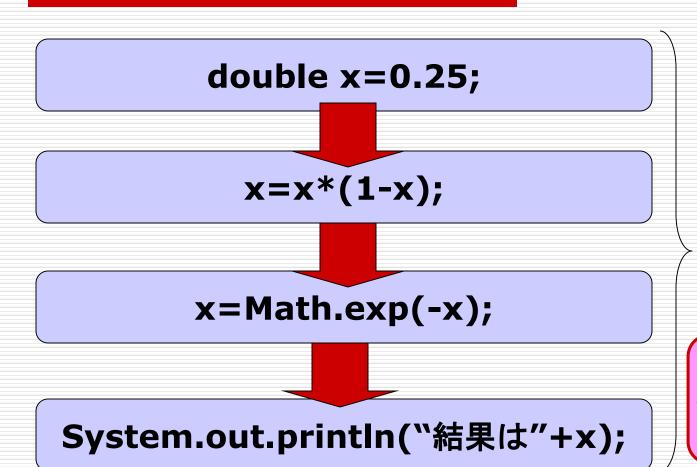
例外

ゼロで除算している 文法が間違っている ファイルがない 入出力がうまくいかない など

プログラムエラー

スレッド

普通のプログラム



一連の 処理が 順に 実行 される

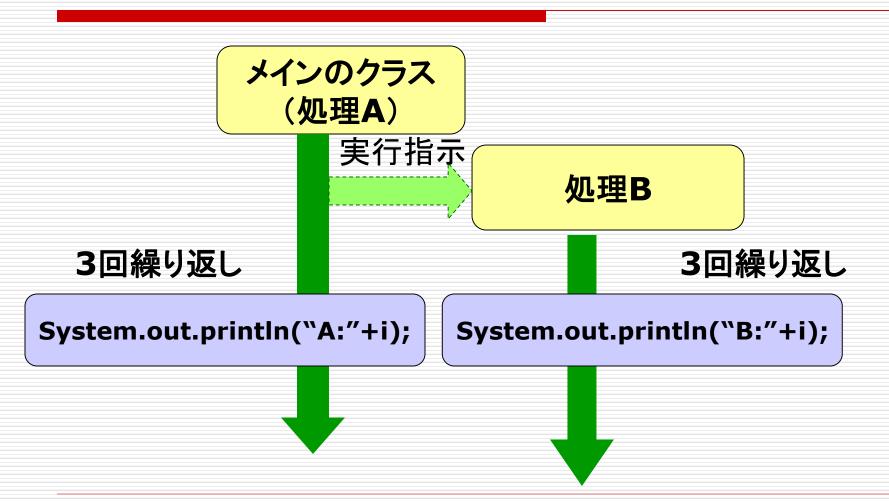
通常 処理の流れは **1**つ

マルチスレッド

- □ 1つのプログラム(正確にはプロセス)の中で、処理の流れ(スレッド)を同時に複数実行するしくみ
- 複数のスレッドが同時に複数実行されるプログラムをマルチスレッドプログラムと呼ぶ(普通のプログラムはシングルスレッドプログラム)



マルチスレッドプログラムの簡単な例



ソースプログラム(1) 処理B

```
class ThreadSmpl extends Thread {
    public void run(){
        for(int i=0; i<3; i++){
            System.out.println("B:"+i);
        }
    }
}</pre>
```

- ① Treadクラスを継承する
- ② run()メソッドをオーバーライドし、同時実行させる 処理を記述する。

run()メソッドはstart()メソッドから呼び出される

ソースプログラム(2) 処理A

```
class ThreadMain {
     public static void main(String[] args) {
       ThreadSmpl shoriB = new ThreadSmpl();
       shoriB.start();
       for(int i=0; i<3; i++){
               System.out.println("A:"+i);
       System.out.println("Done(main).");
```

処理Bを新規スレッドとしてstart()メソッドで実行後、A:・・・を表示

結果

A:0

A:1

A:2

Done(main).

B:0

B:1

B:2

処理Aと処理Bの実行順は 環境に依存するが、この結果では Bの処理の前に Aの処理が終わっている

ことに注意

シングルスレッドでは、 処理Bの実行前に 処理Aが終わることはありえない

処理A(ThreadMain)のmainメソッドも
Threadクラス(ThreadSmpl)のオブジェクトのrunメソッドも
同等のスレッドとして扱われる

結果



BとCのスレッドは同時に 始まり、Bは1秒おき、 Cは1.5秒おきに 画面に表示する

それぞれのスレッドが独立に動いていることがわかる